

「こんにちは！知事です（今治地方局）」

日 時 平成18年10月10日（火）14:00～16:00

場 所 テクスポート今治(今治市)

今回は、今治地方局管内の方々からご意見をお伺いしました。

知事との意見交換にご参加いただいた方々

	氏 名		氏 名
1	井川 和子	11	村上 英司
2	井出 チヨ子	12	村上 悦子
3	井上 裕基	13	村上 範男
4	大河内 忠男	14	矢野 陽子
5	越智 文雄	15	渡部 康
6	越智 資行	16	王 明炯
7	菅 マリハ	17	東 喜美子
8	汐澤 千草	18	古川 泰弘
9	清水 芳寛	19	松下 邦幸
10	日野 郁子	20	村上 志奈子

傍聴された方 50名

意見交換の概要

県の歳出削減に協力できること

県の歳出を削っている話を聞いたが、私達が県民として歳出を削減できるような対策とか方針を考えているか。

(知事)

経費の削減の話はなかなか出てこない。事業を止めるというのは非常に難しい。経費の削減は外部監査委員の指摘等を受け、例えば県立北宇和病院の民間移管では、年間6億円近いお金が浮くことになった。無駄があるという外部からの声が一番効く。例えば、県の持っている施設が機能を果たしてないからいらぬという声も経費節減の一つの材料になる。無駄だと県民の指摘を受ければ、聖域なしに、すぐに考えるのが今の県の状況だ。

障害者通所施設の利用者負担への支援

最近、障害者の自立支援法が制定され、障害者の通所施設等も利用者負担をとられている。障害者には通所自体が普通の生活に戻るため大切であり、一部負担にすると工賃より負担金や交通費が高くなり、通所を辞める、自宅に引きこもる、病状が悪化する、医療費の増に結びつく、という可能性もあり、県単独での助成を願いたい。

(知事)

小泉改革の中で赤字国債の発行を30兆円以下に抑えようという基本方針が出て、社会保障の伸びを抑える方策の一つが障害者自立支援のための自己負担1割ということだった。

税金を上げてでも障害者の経費は全部税金で負担しようとの国民の合意が得られればこんな問題は起きないが、問題はどこのお金を回すのかということで、財源が無く苦しい中で新たな助成制度を創ると、ずっと県の負担が続くと悩みながら聞かせてもらった。

弓削商船高等専門学校の発展的改組

国立の弓削商船高等専門学校は、1901年の創立以来、幾多の変遷をたどりながら発展してきた。しかし、弓削商船と広島商船高専と山口県の大島商船高専の3校で、将来の統合も含めた検討をするよう話があり、これから船員のニーズが増えていく流れの中で、新たな飛躍を目指した発展的な改組になるよう、県としても関係省庁に働きかけてほしい。

(知事)

お話は知事の立場として十分理解する。特に今治は海事都市を目指しており、商船高専の高度な知識、学識を持った方々のウェイトが高いことはよく理解しており、愛媛県の立場としては、その主旨で国に対しても申し上げる。ただ、今の国家財政の中で瀬戸内海の近い地域に、3つの商船高専がそのまま残るとするのは、客観的に難しいと思う。弓削の歴史文化のウエイトと、今治が海事都市を目指し船員技術が求められているという点を強調して、競争することになると見ている。

【対応】

弓削商船高専は、地元上島町はもとより、海事都市構想を推進している今治市にとっても重要な高等教育機関であり、その存在価値は非常に高いと認識しているため、同校が地元にとって有用な形で存続するよう、地元市町と連携しながら支援していきたい。

しかしながら、現在は、3商船高専で統合や学科再編の方針についての協議を開始しようとしている段階であり、同校としても行政に対して、当面静観を求めていると聞いているので、その動向を見守りつつ、必要に応じて対応していきたい。

行政事務の委託

河川や道路及び海岸の整備関係でボランティアが活動している話を聞いた。確かにボランティアの方々をよくやっていると思うが、今後いろんな事業の展開の中で、新しく出来る包括支援センターとかまで委託しかねない。委託したからOKという行政側の甘い考えはないと思うが、管理監督指導的な状況まで考えて委託事業に移しているのか。

（知事）

私が答えられるレベルを超えた話になるが、委託するとしても、国民に対する最低限度のレベル維持は国なり自治体の責務だから、サービスが水準以下に低下しないよう、チェックやフォローは当然必要になる。それが期待されているレベルかどうかは別として、当然だと思う。

【対応】

地域包括支援センター（以下「包括センター」）は、制度上、実施主体は市町で、公正・中立かつ効率的な運営が可能な社会福祉法人等に委託することができることとなっている。

市町においては包括センターの適切な運営を確保するため、地域住民や福祉関係者による包括センター運営協議会を設置し、その意見を反映させるなど、包括センターの設置主体として、包括センターの運営や事業の実施について責任を負うこととなっている。

県としても、市町が包括センターを適切に運営するよう助言していきたい。

レモン栽培農家の頑張り

京都出身のIターンで、岩城島でレモンを栽培している。低迷する農業だが、個人なりに頑張って、販路の拡大や高齢者農家の手助けをして、元気になるようにしている。果樹試験場岩城分場には新品種柑橘の栽培技術などを教えて貰い頑張っている。8月に東京ビックサイトで農と食というイベントがあり、私の出展したレモンを中川政調会長にかじってもらった。個人の農家でも一生懸命頑張れば何とかなるといふ手応えを持ち、今頑張っている。

（知事）

私も先月、「でべそおばちゃんのお店」に行ってレモン懐石を食べさせて頂いた。地域で熱心に取り組んで頑張っていていただいて素晴らしい事だと思う。

県外からの移住促進

4年前に島生活をしたいと早期退職し、夫婦で埼玉から上島町魚島地区に移住してきた。毎日美しい海を見て美味しい魚や野菜を食べて暮らせることが本当に嬉しく、来てよかったと思っている。最近、退職後自分のしたいことを低コストでしたい人も出てきていると思うので、関西圏のみならず、首都圏も視野に入れて受け入れ体制やアピールをもっとしたらいと思う。

(知事)

今、団塊の世代が退職を迎えるので、これをターゲットに移住してもらえないかと、体験移住ツアーを実施している。農業が中心になっているが、団塊の世代が帰って来てあと何十年か愛媛の地で自然の良さを味わってもらい、人口減の対策になればと思っている。

離島航路の充実

離島航路については無くさないように願いたい。

(知事)

離島航路は正直悩みの種で、国も県も赤字補填の差額補助金を相当出しており、将来4便が3便になる可能性が無い訳ではないが、一生懸命頑張りたい。

しまなみ海道の橋の通行料

私は島しょ部に住んでおり、今治市との合併の際に橋の通行料のことが期待された。私達の生活道としてもう少し通行料が安かったら利用も増えると思う。今までにETCの補助も受けているが、わずかな割引なので、もう少し私たちの期待できる事がないかと思っている。

(知事)

橋の料金はいつも言われており、県も料金の値下げの要望等を毎年強く言っているが、正直ためらいがある。と言うのは3橋に3兆円というお金を投入しており、現在の通行料金では大赤字の状況で、料金を下げて欲しいなら自治体がもっと金を出せと言われている。

しまなみ海道で愛媛県は800億の追加負担をしなければならず、毎年53億円ずつ苦しい財政の中から払い込んでおり、今の県財政の中で一番大きな赤字の要因になっている。いわれることはよく分かるが、県に何百億円も請求書が回って来たらどうしようと悩みながら、一生懸命、料金の引き下げを陳情要望している。

財政構造改革の将来の見通し

旧伯方町は今治市と合併し、小中学校が統合予定だが、通学路の街灯や歩道の整備が不十分で、廃校になった時に寂しいという声が出ている。構造改革の中でどれくらいの痛みがあれば、どれくらいの年数で返せるのか、難しいと思うが教えて欲しい。

(知事)

国が目指しているのは、借金の総額を増やさないようにしようというプライマリー balan

ス（公債を除く財政収支）で、今の借金はおそらく誰が計算しても50年や100年で返せそうも無いと思う。ただ、経済が急成長し、ものすごく税収が上がれば、借金の返済に回すピッチは早まると思う。大切なことはこれ以上借金を増やさないことで、景気が良くなり税収が上がれば、それを借金の返済に回す努力をしないと前途は暗いと見ている。

企業の誘致

県内に就職先が無ければ、人はやはり中央の方に行ってしまう。今治も当然この地域での企業誘致をお願いしたいが、企業間の計画というのは県自体ではどうなのか。

（知事）

企業がどう展開していくかは企業ごとの考えで、具体化した段階で初めて浮上することから、県が情報を早く仕入れ、どう対応するかは非常に難しいものがある。

一般的には、愛媛県は協力的だと思ってもらい、愛媛県へ来やすい条件整備をすることになる。県がイニシアティブを取れる訳ではなく、情報入手をしながら積極的に誘致するというのが今の県の産業政策で、そういった努力は今後とも続けて行きたい。

農村部の振興

県内でも都市部と農村部の所得格差が生じている。経済主義の中では仕方ないかもしれないが、美しい日本を残すには農村部を荒廃させないことが必要だ。南予を中心に政策を行うとのことだが、中東予についても何かして欲しい。孫の代に、産業間格差のため同じ土俵で教育が受けられるのか心配だ。配慮願いたい。

（知事）

日本の農業は、狭い国土等のため極めて生産性が低い。本県の農家一人当りの所得は、他の二次、三次産業に比べるとべら棒に低い。問題の一つは農産物の輸入自由化で、外国産に相当やられてしまう。そんな中で、農業全部を支えることは不可能になっており、生産性の上がる集約農業等に農林水産省も転換しようとしている。農業は国土の保全、自然の美化、日本の伝統文化の支えでもあり、県の舵取りに細心の注意が必要な分野と思っている。

海のゴミ問題

漁業をしているが、数年前から粗大ゴミやナイロンゴミの処理に金がかかるようになった。ゴミ問題をなんとかして欲しい。

（知事）

ゴミの問題は基本的には日本人一人一人の心の持ち方と思う。京都の住職が作られた詩で「自分だけと思ってゴミを捨てる。地球上に一億のゴミが積もる。自分だけでもと思ってゴミを拾う。地球上から一億のゴミが消える。」というのがある。ゴミ対策というのは大きな環境の課題だと思う。

しまなみ海道の橋の通行料

大島で毎月朝市をやっているが、今治や新居浜から来る客に橋の料金が高いから来にく
いと言われる。橋の料金を下げた時の経済効果をもう一度考えてもらいたい。

(知事)

橋の料金の話は、解決のためには更に国が1兆円単位の税金を投入することと、愛媛県も
8百億とか1千億の負担をすることになり、気の遠くなる話だと思いながら聞いていた。

今治市に姉妹都市を、またバス路線と街路樹の整備

今治はたくさんの外国人がいるのに、姉妹都市をつくっておらず驚いた。中国のどこか
の町と姉妹都市をつくったらいいと思う。そこから多くの人材が日本に来て、大学等もよ
り長く存在できると思う。また、今治でより多くの通勤・通学者がバスや電車を利用でき
る環境をつくれればいいと思う。さらに、今治のメイン道路にアーチ状の街路樹をつくれ
ば通る人も落ち着いて、環境にも良くなると思う。

(知事)

姉妹都市の問題と町づくりの話、どちらかというは今治市が積極的に取り組んで頂くこと
かと思う。今治市長に今のご意見を十分伝えさせて頂きたい。ちなみに愛媛県は遼寧省、大
連市と経済交流協定を結んでおり、相互訪問をして連携している。姉妹都市は誰か繋ぎ役が
現れるのが必要だと思う。今治市で可能な限り取り入れて頂くようお伝えする。

[対応]

ご提言の内容は今治市に関するものであり、地方局長から今治市長宛ての公文書でご提
言の内容を伝えた。

竹問題

今、今治市玉川町の山林に竹が繁茂して、保水能力が大変低下しているので、早急な対
策を講じて欲しい。

(知事)

竹をどうやって駆除するかは全県的な課題で、名案はまだ出てないが、いろんな対策、研
究を行っている。

[対応]

適正な竹林管理と竹資源の有効利用を図ることを目的として、以下の事業や各種研究を
行っている。

「竹資源循環利用促進プログラム」: 地域の事情に応じた竹林管理や、竹資源の循環利
用を図るための方向性を示すプログラムを策定した。(H16)

「竹資源循環利用促進事業」: 竹資源の循環利用方法や需要開拓を行うための検討会を
開催するとともに、竹炭チップ生産加工に係るコスト縮減方法の整理検討、イベント
等を通じた竹の普及活動の展開、さらには、県民の竹への関心を喚起し、県民参加型
の竹林整備と利用を目指すための交流モデル竹林の実証等を行っている。(H17~)

「タケ資源管理供給システム高度化研究」(林業技術センタ-)：タケ資源を有効に利用するため、利用可能資源量や伐採後の再生量の把握、効率的な搬出コスト技術の開発を行っている。(H17~)

「竹材の多面的利用研究」(林業技術センタ-)：過去の研究成果を活用した、竹チップ炭の調湿材への利用及び新規用途の開発を行っている。(H18~)

「竹林保水機能研究」(林業技術センタ-)：土壌水分環境調査を、伐竹により本数管理した管理竹林と放置竹林において実施し、適正な竹林管理がダム上流域の竹林保水機能の向上に有効なことを明らかにした。(H16~H18)

合併による地域の沈滞

知事は合併を強力に主導したが、地方の中心の支所近辺においても活気が無くなっている。これから先、地方局の再編や道州制を図るようだが、どんな地域を子孫に残していけるのか先が見えて来ない。

(知事)

合併すれば職員が減った分の人件費相当分を今治地域の発展のために使えるはずで、税金の正しい使い方と思う。合併なくして地域の未来はないと確信している。

今治新都市のモデル地区指定

今治新都市を例えば国の少子化対策モデル地区に指定して頂ければという夢があるので、県の支援で一部でも実現すればと願う。

(知事)

いい提案を頂いた。可能かどうかというのはあるが、少子化モデル対策のような地区として輝く地区になることを期待したい。

農業の農業分野以外の意義

大阪からIターンで大三島に来て、環境を考え有機農業を選んだ。農業をしていると全然病気をしなくなる。所得は200万余りで、農家の会合では生活できないと言われるが、医療費もかからず子どもと毎日過ごして楽しい。農業は農業分野だけではなく、医療費を削減するためとか、何か全然違うところをくっつけたら面白いと思う。瀬戸内は温暖で年間を通して農業が出来る。団塊の世代を瀬戸内に引っ張って来たら、楽しい愛媛県になると思う。

(知事)

絵のように素敵な瀬戸内海で有機農業を頑張っておられて素晴らしい。農業だけでは無いという意味のお話は、是非あちこちで言葉を借りて使わせて頂きたい。

グリーンツーリズム

山村留学を海で行い、子供の少子化を防ぐためにも、「農業は楽しい、海はきれいだ」と

いう子供達を育てていく環境にしたい。そういう発展していくグリーンツーリズムを考えて欲しい。

(知事)

旧広田村で山村留学をしている。旧中島町の野忽那島というところではシーサイドスクールをしている。今の子供達をそういうところで育てたいという願望は都市部ではけっこうあると思う。この提案は支所長から今治市長に上がっていい。ただ悩みは、寄宿舍とか維持経費がいろいろかかり、けっこう持ち出しになる。野忽那と同じようなシーサイド留学にすればいいと思う。

[対応]

ご提言の内容は今治市に関するものであり、地方局長から今治市長宛ての公文書でご提言の内容を伝えた。